



時を守り、場を清め、礼を正す

内灘高だより

うち なた こう

(UD デジタル教科書体 font 使用)

令和4年度
第6号
NO. 1



本校HPへ

表彰伝達式・壮行式・新任式・始業式



9/1(木)自転車競技部の全国高校総体入賞表彰伝達式、9月からの大会壮行式、ALTゼブロン先生の新任式、2学期始業式がおこなわれました。小篠校長から2学期の目標「自分のことを好きになる」が発表されました。よろしくお祈りします!



3年生 就職試験前激励会



9月14日(水)、3年就職希望者は就職試験直前激励会をおこないました。小篠校長はピカソの言葉から「できると思ったらできる、できないと思ったらできない」について話されました。また、就職試験は「強気で勝負!」「礼儀・挨拶が大事」「5年後10年後の自分をイメージして自分を語ってください!」と話され、今の自分を信じて頑張ってほしいと強くエールを送りました。強気で勝負!

アチーブ賞



「アチーブ (achieve)」=成し遂げるとか達成するという意味です。高校生活で自分の立てた目標が達成できた時や学校行事や部活動で学校のために貢献した時に「アチーブ賞」を今年度から授与しています。今回のアチーブ賞は8日の放課後におこなった草刈りボランティアに参加した生徒53名です。

2年生SC講演会

9月7日「SOSを出す具体的な方法」というテーマでおこなわれました。悩みを相談してきた人がいたら「話してくれてありがとう」と伝えて生徒自身や友達の心の危機に対処するために、一人で悩まず誰かに相談する具体的な方法を学びました。



SOS

講師

スクールカウンセラー
安田 幸先生

社会人講話

～魅力ある社会人になるために～



9月14日(水)、社会人講話が1年生2年生を対象に、同窓生16名をお招きし8グループに分かれおこなわれました。生徒が司会進行し、同窓生の経験談を聞きながら、社会人の仕事に対する熱意や魅力を実感し、自分の将来像について生徒が自分自身をみつめ考える良い機会となりました。

道の駅サンセットパーク除草ボランティア

9月8日(木)放課後、今年度2回目の道の駅サンセットパーク周辺の草刈りがおこなわれました。全校生徒からボランティアを募ったところ、53名が参加してくれました。生徒は「雑草は直ぐに伸びるので綺麗にしたいと参加しました!」「夏休み中に家族で道の駅に来たときに草が伸びていたのが気になっていました」と参加してくれた生徒もいました。





内灘高だより

令和4年度
第6号
NO. 2



本校HPへ

時を守り、場を清め、礼を正す

うち なた こう

(LD デジタル教科書体 font 使用)

看板のお知らせ 9/5 内灘町道の駅サンセットパークの駐車場東側に学校の看板が設置されました。QRコードにアクセスすると学校HPも見られます。



アクセスしてみてね!

内灘高校進学説明会

令和4年10月14日(金) 18:30~19:30

場所: 石川県立内灘高等学校(河北郡内灘町千鳥台3丁目1番地)

参加者: 中学3年生・保護者・中学校教員

日程: 18:15~18:30 受付

18:30~19:00 学校の概要説明

19:00~19:30 教育相談(個別相談)

TEL 076(238)5301 提出先 FAX 076(238)2931
提出先メールアドレス: _uedera@ishikawa-c.ed.jp



PTA: 第2回自転車乗車マナー斉指導グッドマナーキャンペーン

令和4年9月21日(水)

午島会館(公園)上校舎前



本校 PTA を中心に、警察、交通安全推進委、女性協議会の方々など多くの皆さんに参加していただき登校時の交通マナー指導、交差点での安全指導、あいさつの声かけを重点におこなわれました。また、玄関前で生徒会が挨拶運動をおこない、相手に伝わる挨拶の大切さを実践しました。

「三吉商店」講演会

ふるさとに学ぶクリエイティブ人材育成事業 9/21



講師 石橋淳太郎 氏 有限会社 三吉商店代表取締役社長

石橋社長は1年生を対象に、北陸で唯一のもやしメーカーとして活躍し続ける企業努力についてのお話と、経営に大切なこと、「いただきます」の言葉の意味など幅広くお話されました。また、今いる環境に満足せず、厳しい環境に身を置き、自分でしか経験できないことに挑戦することの大切さについて熱く話され、生徒はとても感銘を受けました。

ジョブカフェ石川 1年進路探究学習

9月28日(水)1年生が自らの進路について考えるきっかけとし、進路選択を迎える前の目標を見出すためおこなわれました。4班に分かれ①職業講話②職業疑似体験③職業適性診断を行いました。生徒は講師の先生の話聞き、今後の高校生活の具体的な目標を考え、充実した高校生活にする決意を持つ良い機会となりました。



職業講話講師

株式会社ヘアー・ディレクションナブ 取締役社長 桶本健太郎 氏
株式会社SLACKTIDE 総務経営企画 執行役員 福久太郎 氏

先輩訪問

岡野はる香(平成30年度卒業 第31期)
社会福祉法人 健悠福祉会 ケアハウス白帆台 介護職員



小学生の頃から介護士として一生懸命に働く祖母の姿を見て素敵だと思っていました。また、祖母が利用者さんから「ありがとう」と感謝される姿を見て、介護職は良い仕事だと思っていました。そして、5年生の時に曾祖母に「人の役に立つ仕事をしたら良いよ」と言われたことから自分も介護職を目指しました。

今は、内灘町にあるケアハウス白帆台で働いています。仕事は、利用者さんの生活習慣や好みを尊重しながら、少しでも自立した生活ができるようにサポートをしています。一般的に、介護の仕事は大変だと言われますが、職場は公私ともに何でも相談できる先輩方ばかりで、チームワークがよく働く環境はとても良いです。そして、利用者さんができなかったことができるようになったり、利用者さんの頑張っている姿を見るたびに働く意欲がわいてきます。

仕事の苦勞は、利用者さんとのコミュニケーションの取り方です。どう接したら良いのか悩む時もありますが、悩んだときはベテラン先輩に相談したり、先輩のマネをしたり、いろいろ試行錯誤しながら日々勉強しています。

将来は、誰からも信頼されるような介護士を目指しています。利用者さんや、利用者さんの家族さんに、この人なら任せて大丈夫!と思ってもらえるような介護士になれるよう努力していきたいと思っています。

